

出版クラブだより



明けましておめでとうございます。

二〇二三年が平和で、出版界にとって実りある年になりますよう祈念いたします。

昨年はコロナ禍に加え、円安や原油価格の高騰により紙の価格や諸経費が上がり、出版界も大きな影響を受けました。相次ぐ生活必需品の値上がりも、人々から本を購入する余裕を奪っているようで心配です。そのような状況下でしたが、昨秋には出版界を挙げる読書推進月間「BOOK MEETS NEXT」がスタートしました。すべての出版人が協力して、本好きな方はもちろん、普段あまり本を読まない方にも読書や書店に興味を持つてもらおう、といふこの取り組みは大変意義のあるものです。書協ではこの気運をさらに高めるべく、本年秋、小規模ですが新たな読書向けブックフェアを開催し、これを「BOOK MEETS NEXT」のイベントとして位置づけたいと検討

を始めています。

一方、社会全体の急激なデジタル化は、新たなサービスとそれに伴う権利問題を生んでいます。

図書館公衆送信補償金制度については、SARL LIB(国書館公衆送信補償金管理協会)が、十一月に著作権法に基づく指定管理団体として指定を受けました。しかし、二〇二三年度から運用を開始する「特定図書館」はおそらく数館程度で、今年は補償金収入がほぼ見込めません。補償金の分配についても、より簡便な方法が必要でしょう。

授業目的公衆送信補償金制度については、SARTRA Sが徴収した補償金分配のための権利者特定作業をJCO PYに業務委託し、各出版社にその作業をお願いしました。しかし、教育機関からの利用報告データには不正確なものが多く、出版社は相当に苦労しました。またその中に含まれており、そのような

利用については教育現場にさらなる啓発活動を行う必要を感じています。

さらに現在、文化審議会著作権分科会で検討中の「簡素化一元的な権利処理方法の導入」に至っては、著作物の利用許諾のあり方そのものを変えてしまうのは、と危惧しています。特に、利用者からの許諾申請に対して権利者の回答がない場合に暫定的な利用が可能になる、などという方法が必要でしょう。

出版社等で明示されているものはあまりに乱暴で、決して認められません。その後、無断利用を禁じる文言が当該出版物等で対象外となる方向で検討されているようですが、引き続き注視が必要です。安価で便利なサービスが生まれれば、利用者は当然そちらに流れます。しかし、利便性ばかりを重視し、著作物の権利を軽視したサービスは専門書出版社や中小出版社の経営に打撃を与える結果的にコンテンツを生み出す力を弱体化させかねません。その危険性を私たちは指摘し、社会に

読者や著作者にとつても 幸せな本の環境を

小野寺 優

(おのでら・まさる)

対しても説明する必要があると思います。



大切なあのひとへ、本との出会いを。



図書カードNEXTは「本屋さんへの招待状」です。

日本図書普及株式会社





もはや「逆境」ではない

堀内丸惠

新年あけましておめでとうございます。みなさま、新しい門出を健やかに穏やかに迎えられることと存じます。

昨年11月、韓国雑誌協会の招きでソウルを訪れました。創立60周年記念の国際シンポジウムに、理事長として登壇することになりました。私にとつても、2019年以来の海外訪問となりました。滞在は三日間でしたが、中身の濃いものでした。初日は杭州出版都市を訪れました。1998年に開発が始まり現在、出版社・印刷所・取次会社など900社以上が集う街です。初期からを中心メンバーであるハンギル社キムオノ会長の歓待を受けました。塩野七生さんの『ローマ人の物語』を翻訳出版した版元です。90年代の韓国の民主化の節目に出版の自由を手に入れ、その後の旺盛な出版活動について話をされました。自由な言論の大切さを改めて認識いた

しました。二日目はシンポジウム当日。雑誌の現状は韓国も日本も同じで、売上減少にどう立ち向かうかが課題でした。紙と電子、イベントやeコマース、セミナーを組み合わせたブランド力を活かした新しい雑誌の形を模索していました。日本の現状を話しました。質問も多く受け、現状打破にかける出版社の熱意は変わらないことも確認できました。機会をつくっていただいた韓国雑誌協会のペクジョンウン会長には、改めて感謝申し上げます。初の訪韓は、リアルに会って言葉を交わす大切さを実感いたしました。

業界には、「2024年問題」があります。自動車運転業務の厳格化の社会情勢に対応し、解決を目指します。物流が法による制限が設けられることがあります。「同一地区同日発売」についても、議論を進めています。物流業界の、魅力ある職場・効率のいい業務の両立に協力いたします。二つめは海賊版対策です。

を前提にその運用に注視していきます。特に図書館等公衆送信サービスについては、21年5月の法改正から短期間で法の求めに応じて補償金管理団体の設立・ガイドラインの策定に尽力したみなさまには、感謝申し上げます。文化庁著作権分科会基本政策小委員会がすすめる「簡素で一元的な権利処理」に関しても、大切は著作物をお預かりした出版者の立場から、書協とともにしつかり意見を述べるつもりです。

昨年の年頭、会報に「逆境をチャンスに」と標題を掲げました。今年はもはや逆境ではありません。今年はむしろこれが常態だと認識すべきと考えます。萎縮した心情を打破し、兎のように飛躍の年にしようではありませんか。雑誌協会は、活力ある雑誌づくりと販売環境の整備に向けて、みなさまのお役に立てるよう、邁進する所存です。（集英社会長）

おかげさまで70周年

文化産業
信用組合

我が国唯一の 出版関連産業専門金融
本の香りのする街には文化信用がある

文化産業信用組合

<https://www.bunka-shinryo.co.jp/>

預金・借入・事業承継などご相談はお気軽にご連絡ください：本店／千代田区神田神保町1-101 ㈹3292-2711



変革を積み重ね、新出版流通元年

近藤敏貴
(こんどう・としだか)

明けましておめでとうござります。旧年中は大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

感染拡大期と小康期を繰り返しながら、依然としてコロナ禍の世は続いています。完

全終息の時を願つてやみませんが、流石に3年も経ちますと、コロナ禍以前の社会を取り戻す動きも本格化しています。世界的に見ても、人流制限は緩和され、経済活動も平常化してきました。

コロナが変えてしまった様々な物事、例えばテレワークの普及などが代表的ですが、それらを以前の状態に戻すのか、あるいはこのまま受け入れていくのか。多くの企業が、その判断を迫られています。

この間、出版業界も大きく変化しました。元に戻すべき部分、あるいはその価値を認め、受容していくべき部分、その見極め次第で、今後の企業あるいは業界の行く末は決まります。

2022年から今年に掛け2023年は新出版流通元年です。JPROは業界標準の共通データベースとして出版情報流通の根幹を支えており、トーハンでも昨年10月、JPROデータと連携した新たな仕入・配本プラットフォーム「en CONTACT」をリリースしています。出版情報の活用を考えるにあたり、モデルとなるのはドイツです。ドイツの書籍流通が低返品率を維持できている理由の一つは、出版情報の活用度合が高いレベルにあるからです。業界の統一データベースが整備され、出版関連情報が集約される流れが確立されています。加えて取次各社が仕入・配本や物流に活用するだけでなく、書店も情報に手軽にアクセスでき、マーケティングや販売に活用できる仕組みが整っている。だからこ

そ一つ一つの商品をじっくり見て、日本の出版情報流通の環境が大きく変わります。JPRO様が手掛けるJPROデータは更に拡充され、BookSPROの利便性も一層向上し、登録情報の質や充実度も日々を追うごとに高まっております。JPROは業界標準の情報流通の根幹を支えており、トーハンでも昨年10月、JPROデータと連携した新たな仕入・配本プラットフォーム「en CONTACT」をリリースしています。出版情報の活用を考えるにあたり、モデルとなるのはドイツです。ドイツの書籍流通が低返品率を維持できている理由の一つは、出版情報の活用度合が高いレベルにあるからです。業界の統一データベースが整備され、出版関連情報が集約される流れが確立されています。加えて取次各社が仕入・配本や物流に活用するだけでなく、書店も情報に手軽にアクセスでき、マーケティングや販売に活用できる仕組みが整っている。だからこ

そ一つ一つの商品をじっくり見て、日本の出版情報流通の環境が大きく変わります。JPRO様が手掛けるJPROデータは更に拡充され、BookSPROの利便性も一層向上し、登録情報の質や充実度も日々を追うごとに高まっております。JPROは業界標準の情報流通の根幹を支えており、トーハンでも昨年10月、JPROデータと連携した新たな仕入・配本プラットフォーム「en CONTACT」をリリースしています。出版情報の活用を考えるにあたり、モデルとなるのはドイツです。ドイツの書籍流通が低返品率を維持できている理由の一つは、出版情報の活用度合が高いレベルにあるからです。業界の統一データベースが整備され、出版関連情報が集約される流れが確立されています。加えて取次各社が仕入・配本や物流に活用するだけでなく、書店も情報に手軽にアクセスでき、マーケティングや販売に活用できる仕組みが整っている。だからこ

そ一つ一つの商品をじっくり見て、日本の出版情報流通の環境が大きく変わります。JPRO様が手掛けるJPROデータは更に拡充され、BookSPROの利便性も一層向上し、登録情報の質や充実度も日々を追うごとに高まっております。JPROは業界標準の情報流通の根幹を支えており、トーハンでも昨年10月、JPROデータと連携した新たな仕入・配本プラットフォーム「en CONTACT」をリリースしています。出版情報の活用を考えるにあたり、モデルとなるのはドイツです。ドイツの書籍流通が低返品率を維持できている理由の一つは、出版情報の活用度合が高いレベルにあるからです。業界の統一データベースが整備され、出版関連情報が集約される流れが確立されています。加えて取次各社が仕入・配本や物流に活用するだけでなく、書店も情報に手軽にアクセスでき、マーケティングや販売に活用できる仕組みが整っている。だからこ

そ一つ一つの商品をじっくり見て、日本の出版情報流通の環境が大きく変わります。JPRO様が手掛けるJPROデータは更に拡充され、BookSPROの利便性も一層向上し、登録情報の質や充実度も日々を追うごとに高まっております。JPROは業界標準の情報流通の根幹を支えており、トーハンでも昨年10月、JPROデータと連携した新たな仕入・配本プラットフォーム「en CONTACT」をリリースしています。出版情報の活用を考えるにあたり、モデルとなるのはドイツです。ドイツの書籍流通が低返品率を維持できている理由の一つは、出版情報の活用度合が高いレベルにあるからです。業界の統一データベースが整備され、出版関連情報が集約される流れが確立されています。加えて取次各社が仕入・配本や物流に活用するだけでなく、書店も情報に手軽にアクセスでき、マーケティングや販売に活用できる仕組みが整っている。だからこ

出版記念会

喜びを分かち合える出版人のホールでお祝いの会を。

★会報「出版クラブだより」にてご紹介して、祝賀申しあげます。



受賞祝賀会

受賞の栄誉に輝く喜びを祝賀する集いに、出版クラブホールを。

★ご案内状の作成、印刷、宛名書き、贈呈記念品、花束など、お手伝いのむきもお申しつけ下さい

●ご予約・お問い合わせ

出版クラブホール

Tel 03(5577)1511 千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル



踏み出した一歩でさらに前へ

矢幡秀治
(やはた・ひではる)

あけましておめでとうござります。旧年中は大変お世話をになりました、心より御礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスはこの3年間、私たち書店を苦しめてきました。昨年は緊急事態宣言こそ出なかつたものの、秋口には第7波が、続けて初冬には第8波に入り、この年明けにピークが来るのではないかと言われています。

天候不順や円安、物価高騰など様々な要因は出版物の売行不振を招き、本屋への足は遠のくばかりで厳しい経営状況が続いております。

このような環境にはありますか、数年来お願いしてきた「30%以上の粗利益」には各方面より理解をいただくとともに、我々の窮状を改善しようと幾つかのプロジェクトが動き始めました。

一つ目は、一昨年12月、出

版の課題解決に向けた特別委員会が発足したこと、昨年より専門委員会も活動を開始して研究、検討を行っています。最初に取り組んでいるテーマは、書店が存続するための環境作りであり、どのような提言が出てくるか期待をもつて見ていています。出版業界全体で書店の隘路を解決しようと、こういう機運が高まってきたのだと感じています。

二つ目は、自民党内に組織された書店議連の活動です。議連名は「全国の書店経営者を支える議員連盟」改め、「街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟」に初年度の昨年は、統一キヤッチャーフレーズとポスターを作製してPRを行いましたが、準備期間が短かったこともあり、それぞれの組織が従来から続けている行事や活動そのままに実施し、これを「BOOK MEET NEX T」で繋ぐとともに、オープニングイベント、デジタルスタンプラリー、アンバサダー任命などの独自企画も実施しました。

また、全国の書店仲間が地元選出の議員に声を掛け、当初40名だった議員数は140名を超えるまでに増えました。軽減税率の適用、再販制度を基盤とした公正な競争環境の整備、図書館納入の地産業界が一つになつたキャンペ

ーンを開催できるのではありませんかと、とても楽しみにしております。

私どもの手掛けている「読者還元祭」では、秋のキャンペーン応募総数が10万名を超え、来店のきっかけとして定着しつつあります。これも多い出版社、取次会社のご協力の賜物と感謝いたします。より一層の拡大に向けて、今年もご支援くださいますようお願い申し上げます。

なお、東京都書店商業組合では東京都の助成をいただき、SNSを利用した「木曜日は本曜日」キャンペーンを始めています。新しい店頭活性化事業として期待しています。

日書連では数年間かけて積み上げてきたものが、今ようやくかたちになりつつあります。それは書店経営の環境改善であり、地道な読書推進活動などの取り組みが、出版業界全体での取り組みに拡がってきたことです。

今年も引き続き読書の大切さを訴えながら、紙の本に触れる人を増やし、街の書店が

存続できるよう一年間、全

力を尽くして参ります。皆様

のご協力をよろしくお願ひ申

し上げます。

(真光書店社長)



出版平和堂



問い合わせ：一般財団法人日本出版クラブ

TEL 03(5577)1771 <https://www.shuppan-heiwado.jp/>

一般社団法人

日本出版取次協会

会長 近藤敏貴

東京都千代田区神田神保町一丁三
出版クラブビル六F
電話 ○三(三二九一)六七六三**株式会社あかね書房**

代表取締役社長 岡本光晴

東京都千代田区西神田三丁二十一
電話 ○三(三二六三)〇六四一**株式会社新学社**

代表取締役社長 山本伸夫

京都市山科区東野中井ノ上町11-39
電話 ○七五(五八一)六一九**株式会社とうこう・あい**

会社

代表取締役社長 鐘ヶ江弘章

東京都中央区銀座七一三一
電話 ○三(五一四八)七二〇〇**株式会社第三文明社**

代表取締役社長 大島光明

東京都新宿区新宿一一二十三
電話 ○三(五六九)七一四二(代表)**新年
名刺交換**

到着順に掲載させていただきました。

一般社団法人日本雑誌協会

理事長堀内丸惠

東京都千代田区神田神保町一丁三
出版クラブビル五F
電話 ○三(三二九一)〇七七五**株式会社光文社**

代表取締役社長 武田真士男

東京都文京区音羽二丁目三番一号
〒101-8001**小学館**

代表取締役社長 相賀信宏

東京都千代田区一ツ橋二丁目三番一号
〒101-8001

出版界で働く皆さんを応援します

出版企業年金基金

理事長 浅野純次

東京都千代田区神田小川町三丁十八
出版クラブビル七F
電話 ○三(五二五九)九一一一**株式会社八木書店**

代表取締役社長八木唯貴

東京都千代田区神田小川町三丁十八
電話 ○三(三二九一)二九六五**一般社団法人教科書協会**

会長星野泰也

東京都江東区千石一丁目九番二八号
電話 ○三(五六〇六)九七八一**株式会社偕成社**

代表取締役社長今村正樹

東京都新宿区市谷砂土原町三丁十五
電話 代表 ○三(三二六〇)三三三二**共立出版株式会社**

代表取締役社長南條光章

東京都文京区小日向四一六一
電話 ○三(三九四七)二五一九

株式会社増進堂・受験研究社
代表取締役社長 岡本明剛



大阪市西区新町二一九一五
電話 ○六(六五三二)一五八一

株式会社 読書人
代表取締役社長 明石健五

東京都千代田区神田神保町一三十五
富山房ビル6F
電話 ○三(五四四)五九七五

日本文教出版株式会社
代表取締役社長 佐々木秀樹

大阪市住吉区南住吉一七一五
電話 ○六(六六九二)一二六一

株式会社 八重洲出版
代表取締役 酒井雅康

本社 〒一〇四、八四八、東京都中央区八丁堀四、五、九(エイビット)
支社 〒一〇四、八四三、(代送)平成(03)三五五二一、大阪府田辺市庄北四、一、美之谷五〇二号
電話 ○六(六三〇)〇八二二
FAX ○六(六三〇)〇八三三

株式会社 校成出版社
代表取締役社長 中沢純一

杉並区和田二一七一
電話 ○三(五三八五)二三二二(代)

新生紙パルプ商事株式会社
代表取締役社長 三瓶悦男

東京都千代田区神田錦町一八八
電話 ○三(三五九)五〇八〇

日本紙通商株式会社
代表取締役社長 吉田太

東京都千代田区神田駿河台四丁目六番地
電話 ○三(六六六五)七〇三三二

医歯薬出版株式会社
代表取締役社長 白石泰夫

東京都品川区西五反田2丁目27番4号
電話 ○三(三七七九)○五八一

ひかりのくに株式会社
代表取締役社長 岡本功

大阪市天王寺区上本町三一九一四
電話 ○六(六七六八)一一五一

光村教育図書株式会社
代表取締役社長 湯地修治

東京都品川区西五反田2丁目27番4号
電話 ○三(三七七九)○五八一

株式会社世界文化ホールディングス
代表取締役社長 鈴木美奈子

東京都千代田区九段北一九一九
電話 ○三(三二六二)五一二一

謹賀
—新春紙上

賜りました名刺広告、年頭所感は

株式会社中央社
代表取締役社長 森岡憲司

東京都板橋区東坂下一八一五
電話 ○三(三五五八)二二〇二

日本製紙株式会社
代表取締役社長 野沢徹

東京都千代田区神田駿河台四一六
電話 ○三(六六六五)一一二一

株式会社

扶

代表取締役会長

久保田

代表取締役社長

小池

英彦

東京都港区芝浦一丁目一
電話 ○三(六三六八)八八五一

桑

社

株式会社



代表取締役社長 筑紫和男

東京都文京区千石四丁目二番十五号
電話 ○三(三九四四)二六一三

株式会社

文

代表取締役社長

益井英郎

東京都新宿区岩戸町一七
電話 ○三(三三六九)四三三一

英

堂

株式会社

金

星

堂

代表取締役社長 福岡正人

東京都千代田区神田三丁目二十二
電話 ○三(三三二六三)三八二八

株式会社

緑

書

房

代表取締役会長 森田浩平
代表取締役社長 森田浩平猛東京都中央区東日本橋三丁目一
電話 ○三(六八三三)〇五七〇

日本加除出版株式会社

代表取締役社長 和田裕

東京都千代田区南長崎三丁目一
電話 ○三(三九五三)五七五七

株式会社

暮しの手帖社

代表取締役社長 阪東宗文

東京都千代田区神田一丁目一
豊島屋ビル三F
電話 ○三(五二五九)六〇〇一

株式会社

南

江

堂

代表取締役社長 小立健太

東京都文京区本郷三丁目一
電話 ○三(三八一)七一四〇(代表)教育と歩みつづける
株式会社

日教販

代表取締役社長 渡部正嗣

埼玉県戸田市上戸田四丁目一
電話 ○四八(四四一)九三二一100年の笑顔、夢
100年先の未来も

株式会社 金の星社

代表取締役社長 斎藤健司

東京都台東区小島一丁目四番地三号
電話 ○三(三八六一)一八六一

会社

富

山

房

代表取締役社長 坂本起一

東京都千代田区神田神保町一丁目一
電話 ○三(三三九一)二一七一

会社

主婦と生活社

株式会社

代表取締役社長 高納勝寿

東京都中央区京橋三丁目五番七号
電話 ○三(三五六三)五一二〇

会社

双葉社

代表取締役社長 戸塚源久

東京都新宿区東五軒町三番二八号
電話 ○三(五二六一)四八一

丸善出版株式会社

代表取締役社長 池田和博

東京都千代田区神田神保町二丁目一
神田神保町ビル六階
電話 ○三(三五二二)三二五六

株式会社

才

ム

社

代表取締役社長 村上和夫

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町二丁目一
神田神保町ビル六階
電話 ○三(三五二二)三二五六

株式会社

秋田書店

代表取締役社長 樋口茂

東京都千代田区飯田橋二丁目十番八号
電話○三(三三六四)七〇一一(代表)

株式会社 図書文化社

代表取締役社長 則岡秀卓

東京都文京区大塚一丁目四十一五
電話○三(三九四三)二五二二(代)

上毛印刷株式会社

代表取締役 大澤丈太

東京都豊島区南池袋二丁目三番五号
電話○三(三九八四)八五七六

日本書店商業組合連合会

会長矢幡秀治

東京都千代田区神田駿河台一丁目
電話○三(三二九四)〇三八八

日本工業出版株式会社

代表取締役社長 小林大作

東京都文京区本駒込六丁目二二六
電話○三(三九四四)一一八一(代)

株式会社

養賢堂

代表取締役社長 及川雅司

東京都文京区本郷五丁目30番15号
電話○三(三八一四)〇九二一

株式会社 文藝春秋

代表取締役社長 中部嘉人

千代田区紀尾井町三丁目二二三
電話○三(三五五)一二二二

株式会社 光和コンピューター

代表取締役 寺川光男

東京都千代田区岩本町三丁目二二二
岩本町東洋ビル
電話○三(三八六五)一九八一

株式会社 新興出版社啓林館

代表取締役社長 佐藤諭史

大阪市天王寺区大道四丁目三番二五号
電話○六(六七七九)一五三一

株式会社 旺文社

代表取締役社長 杣川秀樹

東京都新宿区横寺町五五五
電話○三(三二六六)六四〇〇

昭和図書株式会社

代表取締役社長 永井真士

東京都千代田区神田神保町二丁目30番地
電話○三(三二六一)五五〇一

株式会社 コロナ社

代表取締役社長 牛来真也

創立1927年

東京都文京区千石四丁目四六一
電話○三(三九四二)三二三二(代)〇

株式会社 学研ホールディングス

代表取締役社長 宮原博昭

東京都品川区西五反田二丁目一八
電話○三(六四三二)一〇〇一

株式会社 千倉書房

代表取締役社長 千倉成示

東京都中央区京橋三丁目七一
電話○三(三五二八)六九〇一

株式会社 講談社

代表取締役社長

東京都文京区音羽二丁目二二二二
野間省伸

出版健康保険組合

理事長 高井昌史

東京都千代田区神田駿河台一一七



株式会社 永岡書店

代表取締役社長 永岡純一

東京都練馬区豊玉上一一七一一五五

大日本印刷株式会社

代表取締役社長 北島義齊

東京都新宿区市谷加賀町一一一

株式会社 中央経済社ホールディングス

代表取締役社長 山本 繼
代表取締役社長 山本憲央

東京都千代田区後楽一丁目二番一二号
電話 ○三(三八一五)一五二二(代表)

株式会社 実教出版社

代表取締役社長 小田 良次
代表取締役社長 小田良次

東京都千代田区五番町五番地
電話 ○三(三三三八)七七〇〇

株式会社 芳文社

代表取締役社長 孝壽尚志
代表取締役社長 孝壽尚志

東京都文京区後楽一丁目二番一二号
電話 ○三(三八一三)三七八一

株式会社 竹尾

代表取締役社長 竹尾 稲
代表取締役社長 竹尾 稲

東京都千代田区神田錦町三一一二一
電話 ○三(三三九二)三六一一

株式会社 マガジンハウス

代表取締役社長 片桐隆雄
代表取締役社長 片桐隆雄

東京都中央区銀座三一一三一一〇
電話 ○三(三五四五)七一二二

株式会社 チヤイルド本社

代表取締役社長 大橋潤
代表取締役社長 大橋潤

東京都文京区小石川5丁目24番21号
電話 ○三(三八一三)三七八一



株式会社 図書印刷株式会社

代表取締役社長 川田和照
代表取締役社長 川田和照

東京都北区東十条三一〇一三六
電話 ○三(五八四三)九七〇〇

株式会社 第一学習社

代表取締役 松本洋介
代表取締役 松本洋介

広島市西区横川新町七丁目一四番
電話 ○八二(三三四)六八〇一

株式会社 内田老鶴園

代表取締役社長 加藤一浩
代表取締役社長 加藤一浩

東京都新宿区南元町一九番地
電話 ○三(三三五八)〇〇一一

株式会社 きんざい

代表取締役社長 山田英伸
代表取締役社長 山田英伸

東京都港区新橋六一一七一一九
新御成門ビル
電話 ○三(五四〇二)一八一一

株式会社 ダイニツク株式会社

代表取締役社長 内田学
代表取締役社長 内田学

東京都文京区大塚三丁目三四番三号
電話 ○三(三九四五)六七八一

全国教科書供給協会

一般社団法人

会長 川又英宏

東京都江東区千石一十九二八
電話 ○三(五六〇六)九七九一

株式会社一迅社

代表取締役社長 野内雅宏

東京都新宿区新宿三一九一
京王新宿追分ビル五階
電話 ○三(五三二二)六一六四

株式会社河出書房新社

代表取締役 小野寺優

東京都渋谷区千駄ヶ谷2丁目32番2号
電話 ○三(三四七八)三二五一

株式会社世界思想社教学社

代表取締役 上原寿明

京都府左京区岩倉南桑原町五六番地
電話 ○七五(七二二)六五〇〇(代表)

学校図書株式会社

代表取締役社長 芹澤克明

東京都千代田区神田淡路町二二二三一
電話 ○三(六二八五)二九一六

株式会社徳間書店

代表取締役社長 小宮英行

東京都品川区上天崎三一一
目黒セントラルスクエア

光村図書出版株式会社

代表取締役社長 吉田直樹

東京都品川区上大崎二一九一
電話 ○三(三四九三)二二一一

株式会社裳華房

代表取締役社長 吉野和浩

東京都千代田区四番町八ノ一
電話 ○三(三三六二)九一六六

株式会社婦人之友社

代表取締役 入谷伸夫

東京都豊島区西池袋二二〇一
電話 ○三(三九七二)〇一〇一

KADOKAWA

代表取締役社長 夏野剛

東京都千代田区富士見二二二三
電話 ○三(二二二二)二九一三

日販

代表取締役社長 奥村景二

千代田区神田駿河台四一三

有限会社ベレ出版

代表取締役社長 内田真介

東京都新宿区岩戸町一二
レベックビル
電話 ○三(五二三五)四七九〇

株式会社工藤出版サービス

代表取締役社長 工藤裕樹

東京都板橋区前野町4-40-18
電話 ○三(三九六五)五一〇一

株式会社メイツユニアーサルコンテンツ

代表取締役社長 大羽孝志

東京都千代田区平河町二丁目一番地八号
電話 ○三(五二七六)三〇五〇

電気書院

代表取締役社長 田中聰

東京都千代田区神田神保町一
ミヤタビル2F
電話 ○三(五二五九)九一六〇



株式会社文理

代表取締役社長 安達健一

東京都品川区西五反田二丁目一十一十八
電話 ○三(六四二二)七三八三

日本紙パルプ商事株式会社

代表取締役社長 渡辺昭彦

東京都中央区勝どき三丁目12番1号
フオアフロントタワー



KPPグループホールディングス株式会社
代表取締役社長
国際紙パルプ商事株式会社
代表取締役
社長執行役員

栗原正

東京都中央区明石町六丁目一四
電話 ○三(三五四二)四一六六(代)

株式会社彰国社

代表取締役社長 下出雅徳

東京都新宿区富久町八丁目一
電話 ○三(三三五九)三一一一



株式会社国書院

代表取締役社長 佐藤清

東京都千代田区神田神保町三丁目一
電話 ○三(三三六二)四七九五(代)

TOMOWEL 共同印刷株式会社

代表取締役
長 藤森康彰

東京都文京区小石川四丁目一
電話 ○三(一三八二七一二二)(代表)

株式会社朝倉書店

代表取締役社長 朝倉誠造

東京都新宿区新小川町六丁目一
電話 ○三(三三六〇)〇一四一

日本図書普及株式会社

代表取締役社長 平井茂

〒162 東京都新宿区市谷田二丁目一
TEL (03)3267-1231

株式会社トーハン

代表取締役社長 近藤敏貴

東京都新宿区東五軒町6番24号
電話 ○三(三三六九)六一一一

株式会社リイド社

代表取締役 齊藤哲人

東京都杉並区高円寺北二丁目一
電話 ○三(五三七三)七〇〇一

株式会社小峰書店

代表取締役社長 小峰広一郎

東京都文京区水道一丁目一
電話 ○三(三八三五)五一一一

凸版印刷株式会社

代表取締役社長 磯秀晴

東京都文京区市谷台町四番一
電話 ○三(三三三五七)三五二二

数研出版株式会社

代表取締役社長 星野泰也

東京都千代田区神田小川町二丁目一
電話 ○三(五二八三)六〇〇一

図書館流通センター

代表取締役社長 谷一文子

東京都文京区大塚三丁目一
電話 ○三(三九四三)二三三二(代)

全日本製本工業組合連合会

会長 田中真文

東京都板橋区大和町二十八丁目一
電話 ○三(五四八)二三三二

一般社団法人自然科学書協会

理事長 飯塚尚彦

東京都千代田区神田神保町一丁目一〇一
神保町101ビル3階
電話 ○三(五五七七)六三〇一

新春紙上名刺交換

2023年 年頭所感 —出版人の声—

Gakkenに移りました

青木 康晋

長いこと「朝日」でメシを食つてきましたが、2022年7月からGakken(旧学研プラス)顧問となりました。はじめな人が多いなか、職場にテレビがないんだとか、社風や文化の違いをおもしろいと感じています。ともあれ、大好きな出版の仕事にかかわるのがとてもうれしい。新年もよろしくお願いします。

(朝日新聞出版前会長、現Gakken顧問)

「日配」の外地進出、夢の跡

能勢 仁

ロシアのウクライナ侵攻を考えると胸が痛む。第二次世界大戦

時、日本も「大東亜共栄圏」の大義でアジア各国に迷惑を掛けた。当時「日配」の文化侵攻も積極的であった。出先順に見ると昭和16年11月朝鮮(京城府)支店進出を機に、台湾(台北)、満洲、上海、北京、シンガポール、ラングーン、スマトラ、セレベス、バンコクと続いていた。

戦争に勝利者ではなく、平和に敗者はいない。一日も早く平和になつて欲しいと思う。

(フセ事務所代表取締役)

強い信念

戸羽 節文

新年明けましておめでとうございます。出版の仕事にかかわるのですがとてもうれしい。新年もよろしくお願いします。

(朝日新聞出版前会長、現Gakken顧問)

そうした中でも、役に立つ書籍を世に出していくのだという強い信念を持って、今年も努力を続けてまいります。

みなさま方には、本年も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(日科技連出版社代表取締役社長)

専門出版社の使命

吉田 直人

日経BPは昨年「多彩な専門性で読者・顧客・社会にその先を示す」というミッションを制定しました。経営、技術など専門分野での出版を通じて、皆様の使命であるとの思いを新たにしました。ロシアのウクライナ侵攻で民主主義と自由経済の基盤が脅かされ、世界が不安に揺れています。だからこそ、日経グループの出版社として日本の経済社会を

明けましておめでとうございます。当社の生業は「出版広告」です。出版も広告も情報産業であり、情報技術(I.T.)が産業の根本から変革を引き起こしつつあります。この大きな変革期の仕事を引き続き楽しんで進めていく所存です。

本年もよろしくお願い申し上げます。(どうこう・あい代表取締役社長)

東京堂参上

大橋 知広

年頭にあたり本の街神田神保町において東京堂としてあるいは神田すずらん通り商店街として

皆様、明けましておめでとうございます。新年を迎えて 川瀬 真

皆様、明けましておめでとうございます。近年はデジ・ネット社会の到来を迎え著作物の流通にも大きな変化が生じています。著作権の集中管理の分野においても同じで、この社会の変化にどう対応していくかが最重要課題となっています。本センターにおいても、委託の範囲や使用料の額について検討を進めており、権利者様及び利用者様のご期待に応えられるよう努力していきます。

(日本複製権センター代表理事
理事長)

一般社団法人日本書籍出版協会

理事長 小野寺 優

東京都千代田区神田神保町一丁目三
出版クラブビル五階
電話 ○三(六二七三)七〇六一

代表理事 萩本直樹

東京都新宿区信濃町7番地
電話 ○三(三三五三)六一

聖教新聞社

あるいは出版今昔会としてあるいは書店未来研究会として当店はどいたい

変革期を楽しんで

鐘ヶ江 弘章

の発展に資する出版文化を守り続ける所存です。

(日経BP代表取締役社長)

(東京堂代表取締役社長)

東京堂参上

新年を迎えて

川瀬 真

明けましておめでとうございます。新年を迎えて 川瀬 真

皆様、明けましておめでとうございます。近年はデジ・ネット社会の到来を迎え著作物の流通にも大きな変化が生じています。著作権の集中管理の分野においても同じで、この社会の変化にどう対応していくかが最重要課題となっています。本センターにおいても、委託の範囲や使用料の額について検討を進めており、権利者様及び利用者様のご期待に応えられるよう努力していきます。

(日本複製権センター代表理事
理事長)

年頭のご挨拶

植松 貞夫

年頭所感

川上 浩明

オフィス仮移転その後

土井 成紀

幸運な世代

岡崎 満義

謹んで、新春のお慶びを申し上げます。当協会は一八九二年の発足以來、日本の図書館及び図書館員を支えてきました。今後も図書館の発展により、人々の生活を豊かにし学術文化の進展に寄与するという公益法人としての使命を果たしていきます。そのためには、出版界の皆様との連携・協力が不可欠です。コロナ禍により厳しい状況が続きますが、会員の英知を結集して前進する所存です。本年もよろしくお願いいたします。

(日本図書館協会理事長)

大学ファンダへの疑問

山下 正

大学出版部に所属した経験から大学の動向には注視してきている。日本の研究力低下を打開すべく登場した政府の「大学ファンダ」(10兆円基金で特定大学に年数百億円の研究支援)は実施段階に入り、今年中に支援対象大学が五・七校選定される運びだ。この計画で研究力は再生できるのか、疑問が残る。任期のない若手研究者を増やし、自由に使える研究費を投入、多様な基礎研究を可能にする環境づくりこそが解決への道筋では。

(大学出版部協会顧問)

ピンチはチャンス

松信 健太郎

あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスによる生活様式の変化、先が見えない新しい出版流通など、課題は山積し、先行不透明な状況が続いております。しかし、ピンチはチャンス。混迷は新しいステージへの出発の契機。恐れず、勇気をもって一步を踏み出すことこそが現状打破への鍵になると信じています。本年も社業発展、業界発展のために力を尽くす所存です。ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

(有隣堂代表取締役社長)

新年はどんな年に

岡本 明剛

コロナ禍に加え、ウクライナ戦争も年越しとなつた。今年も厳しい年を覚悟せねばならない。こういう年こそ人々の心を励まし、パワーを与える「ことばの力」、「本の力」が必要になる。昨秋、業界挙げて取り組んだ新たな「秋の読書推進月間」。今まで本を開かなかつた層を取り込むとする大きな構想だ。これを吉所に全国の書店さんが元気に輝き、読者が倍増し、魅力ある業界に発展できることを願う。

(増進堂・受験研究社代表取締役社長)

不易流行と温故知新を

坂東 宗文

新年あけましておめでとうございます。皆様の昨年のご厚情を改めて御礼申し上げます。本年当社は暮年の手帖創刊75周年という節目の年となります。干支の卯に願をかけ「社内安全」と「飛躍」を目指して全員一丸となつて活動して参ります。

(暮しの手帖社代表取締役社長)

2025年の崖

寺川 光男

経済産業省がDXレポートでの「ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開」を発表してから5年目を迎えます。過剰なカストマイズで複雑化しブラックボックス化した既存システムからの脱却の必要性を問うています。デジタル競争力の強化こそがビジネスモデルを柔軟迅速に変更できるとして、2025年までにシステム刷新を集中的に推進する必要があるとしています。これらの課題克服に寄与すべく、一同注力して参ります。本年もご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

(光和コンピューター代表取締役社長)

出版流通にマーケットインの思想を取り入れる。その実現の要となる新しい仕入・配本プラットフォーム「enCONTACT」が、今年から本格的にお取引先の皆様にご利用頂けるようになります。JPRDODEIと連携し、皆様にとって本当に使い易いシステムになるよう時間を掛けて開発して参りました。2023年、出版情報を巡る環境は大きく変わります。情報活用のレベルも格段に向上升します。業界の皆様に幅広くご利用頂けますと幸いです。

(トーハン代表取締役副社長)

昨年のこの欄で、オフィスの仮移転の話を書いた。引っ越しのものは順調に終わり、ホッとしたもののが、スペースが少し狭くなつたにも関わらず、以前より新しいビルに移つたため賃代がかさむことに。諸経費の値上がりもあって、経常的な支出が増えている。スリムで強靭な体制作りが喫緊の課題で、組織・要員を含めて、幅広く見直しを検討している。コロナ禍への対応もあり、今年も厳しい現実と向き合う一年になりそうだ。

(NHK出版代表取締役社長)

昨年は茅ヶ崎市が開いてくれた高齢者向けの体操教室に、週2回夫婦で通っている。朝10時から夕方5時まで、昼弁当がでて、風呂にも入れる。メンバーは6人、スタッフ4人で和気アシアギお喋りができる。昭和10年代以降に生まれた男は、兵隊にかかり出されることもなく、高齢になってればケア施設が用意されないと感謝している。まさに幸運な時代に生まれました。まことに幸運な時代に生まれたと感謝している次第。

(文藝春秋元編集総局長)

昨年は茅ヶ崎市が開いてくれた高齢者向けの体操教室に、週2回夫婦で通っている。朝10時から夕方5時まで、昼弁当がでて、風呂にも入れる。メンバーは6人、スタッフ4人で和気アシアギお喋りができる。昭和10年代以降に生まれた男は、兵隊にかかり出されることもなく、高齢になってればケア施設が用意されないと感謝している。まさに幸運な時代に生まれました。まことに幸運な時代に生まれたと感謝している次第。

(文藝春秋元編集総局長)

80代半ばになると、外に出て人と喋ることも少なくなる。この一年は茅ヶ崎市が開いてくれた高齢者向けの体操教室に、週2回夫婦で通っている。朝10時から夕方5時まで、昼弁当がでて、風呂にも入れる。メンバーは6人、スタッフ4人で和気アシアギお喋りができる。昭和10年代以降に生まれた男は、兵隊にかかり出されることもなく、高齢になってればケア施設が用意されないと感謝している。まさに幸運な時代に生まれました。まことに幸運な時代に生まれたと感謝している次第。

(日教販代表取締役社長)

2023年頭所感

渡部 正嗣

田中 真文

教科書の役割

星野 泰也

場づくりが大事

奥村 景一

年頭所感

山根 育

難しい終わり方

芹澤 克明

あけましておめでとうございます。日頃より出版業界関係者の皆様には製本組合会員各社が、大変お世話になつておりますことを感謝申し上げます。本年の兎年は、格言には「ウサギは跳ねる」とあるように飛躍の年と言われております。全製工連でも引き続き情報提供と情報交換並びに親睦の場を提供してまいりたいと考えておりますので、本年もご理解とご協力をお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。

(全日本製本工業組合連合会会長)

新たな挑戦

伊東 孝

批判的思考力

(教科書協会会長)

出版の力、教育の力

五郎丸 徹

教育環境はハイブリッドへ

宮原 博昭

年頭所感

浅野 純次

新型コロナによって加速したG IGAスクール構想は、端末配備の段階を終え、その活用の促進にフェーズを移しました。デジタル教科書の普及促進も着実に進んでいます。しかし、紙であってもデジタルであっても、教科書が学びの根幹を支える教材であることに変わりはありません。そんな教科書の役割を十分に踏まえた上で、新しい時代における教科書の方を、今後も追い求めたいと考えています。

(教科書協会会長)

10月の終りに群馬県前橋市で初めて『マエバシBOOK FES』が開催されました。快晴の日曜、JR高崎駅で両毛線に乗換えいざ前橋へと。フェスの参加者でしようか、車内に20人以上の読者の姿。都内では見かけることのなくなった光景に驚く自分、そしてそれを反省する自分。やっぱり「場」づくりなんだと改めて認識することになりました。やつぱり「場」づくりな本をコアに対話する時間のために、街と本屋さんを中心に広げたい感じた秋の一日。

(日本出版販売代表取締役社長)

10月よりいよいよ、消費税率10%が適用されるのです。専門セミナーの展開を通じて、すべての事業者が的確にインボイス関連実務に向き合えるよう、制度の迅速な理解と定着に貢献してまいりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(税務研究会代表取締役社長)

あけましておめでとうございます。コロナ禍の中で根付いたオンラインと共存する日常。学ぶ場はリアルでもオンラインでも選べるようになつた。それを前提に、コンテンツの展開の仕方は超速で進化し続けている。日本中、いや世界中どこにいても、年齢を問わず、学びたい人にはその人にあつた学習環境を提供していきたい。教える人を持つ強みとコンテンツの強みとを併せ持つ会社の使命として、今年も深化し続けたい。

(学校図書代表取締役社長)

コロナ禍での生活が3年過ぎようとしています。どうすれば終息宣言が出せるのでしょうか? ロシアのウクライナ侵攻が1年を迎えようとしています。どうすればウクライナの国民が安心して生活ができるようになるのでしょうか? 人類は極めて難しい終わり方に直面しています。でも、ウイルスも国のリーダーも生物です。永遠の命はありません。私たちは今をより良くする努力を続ける時間を味方に付けるしかありません。

(出版企業年金基金理事長)

あけましておめでとうございます。日頃より出版業界関係者の皆様には製本組合会員各社が、大変お世話になつておりますことを感謝申し上げます。本年の兎年は、格言には「ウサギは跳ねる」とあるように飛躍の年と言われております。全製工連でも引き続き情報提供と情報交換並びに親睦の場を提供してまいりたいと考えておりますので、本年もご理解とご協力をお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。

(田中・伊東文具店代表取締役)

IGAスクール構想は、端末配備の段階を終え、その活用の促進にフェーズを移しました。快晴の日曜、JR高崎駅で両毛線に乗換えいざ前橋へと。フェスの参加者でしようか、車内に20人以上の読者の姿。都内では見かけることのなくなった光景に驚く自分、そしてそれを反省する自分。やっぱり「場」づくりなんだと改めて認識することになりました。やつぱり「場」づくりな本をコアに対話する時間のために、街と本屋さんを中心に広げたい感じた秋の一日。

(日本出版販売代表取締役社長)

10月よりいよいよ、消費税率10%が適用されるのです。専門セミナーの展開を通じて、すべての事業者が的確にインボイス関連実務に向き合えるよう、制度の迅速な理解と定着に貢献してまいりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(税務研究会代表取締役社長)

あけましておめでとうございます。コロナ禍の中で根付いたオンラインと共存する日常。学ぶ場はリアルでもオンラインでも選べるようになつた。それを前提に、コンテンツの展開の仕方は超速で進化し続けている。日本中、いや世界中どこにいても、年齢を問わず、学びたい人にはその人にあつた学習環境を提供していきたい。教える人を持つ強みとコンテンツの強みとを併せ持つ会社の使命として、今年も深化し続けたい。

(学校図書代表取締役社長)

出版企業年金基金では職員の読書機会を増やすようささやかな取り組みをしている。そこで思うのですが、出版クラブビルに働く人たちによるお薦め本の企画などどうだろう。それを『出版クラブだより』で紹介してもらえば何よりだ。世間では本の表彰から読書感想文コンクール、朝読、書店員の薦める一冊、ビブリオバトルまで、読書推進の多様な動きがみられる。出版界の本丸でも小さくてもよい、何かが始まらないだろうか。

(出版企業年金基金理事長)

あけましておめでとうございます。日頃より出版業界関係者の皆様には製本組合会員各社が、大変お世話になつておりますことを感謝申し上げます。本年の兎年は、格言には「ウサギは跳ねる」とあるように飛躍の年と言われております。全製工連でも引き続き情報提供と情報交換並びに親睦の場を提供してまいりたいと考えておりますので、本年もご理解とご協力をお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。

(田中・伊東文具店代表取締役)

IGAスクール構想は、端末配備の段階を終え、その活用の促進にフェーズを移しました。快晴の日曜、JR高崎駅で両毛線に乗換えいざ前橋へと。フェスの参加者でしようか、車内に20人以上の読者の姿。都内では見かけることのなくなった光景に驚く自分、そしてそれを反省する自分。やっぱり「場」づくりなんだと改めて認識することになりました。やつぱり「場」づくりな本をコアに対話する時間のために、街と本屋さんを中心に広げたい感じた秋の一日。

(日本出版販売代表取締役社長)

10月よりいよいよ、消費税率10%が適用されるのです。専門セミナーの展開を通じて、すべての事業者が的確にインボイス関連実務に向き合えるよう、制度の迅速な理解と定着に貢献してまいりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(税務研究会代表取締役社長)

あけましておめでとうございます。コロナ禍の中で根付いたオンラインと共存する日常。学ぶ場はリアルでもオンラインでも選べるようになつた。それを前提に、コンテンツの展開の仕方は超速で進化し続けている。日本中、いや世界中どこにいても、年齢を問わず、学びたい人にはその人にあつた学習環境を提供していきたい。教える人を持つ強みとコンテンツの強みとを併せ持つ会社の使命として、今年も深化し続けたい。

(学校図書代表取締役社長)

出版企業年金基金では職員の読書機会を増やすようささやかな取り組みをしている。そこで思うのですが、出版クラブビルに働く人たちによるお薦め本の企画などどうだろう。それを『出版クラブだより』で紹介してもらえば何よりだ。世間では本の表彰から読書感想文コンクール、朝読、書店員の薦める一冊、ビブリオバトルまで、読書推進の多様な動きがみられる。出版界の本丸でも小さくてもよい、何かが始まらないだろうか。

(出版企業年金基金理事長)

今年も日の丸を背負つた
男たちに注目！

2022年4月より、前任の小

沼の後を受けて、出版・エンタテインメントビジネスデザイナー局長を務めております。出版社の皆様とは、弊社歴代の先輩が、公私ともに深い絆を築いてきたとあらためて感じております。変革と進化を続けていらっしゃる出版業界の皆様のお役にたてるように、継承していくべきところを大切にしながら、新しい未来の関係を築いてまいりたいと存じます。

（博報堂出版・エンターテインメントビジネスデザイン局長）

『幸せ』づくりに

北脇 信夫

恭賀新年

岡本 功

「落ち着かない時代になった」と思っていたら、難民支援に関わってきた友人から「世界の多くの人がこのよう中で過ごしてきることに、君が気が付かないで来ただけだよ」といわれました。思えば団塊世代は幸せでした…。次世代のひとりでも多くが「幸せ」と感じられる世界を手渡していきたいと思います。過去でも未来もなく「今」を幸せと感じる社会を創るべく今年をはずんで過ごします。

（ひかりのくに代表取締役社長）

池田 哲雄

「変革」の年、挑戦します
安部 順一

あけましておめでとうございます。今年はどうぞ一年になります。今年はどうな一年になりますのでしょうか。2022年はサッカーワールド杯で、日本代表がドイツ、スペインの強豪を撃破。ベスト16へ進出したことが、大きな感動を呼びました。今年3月8日にはワールドベール・クラシックが開催されます。サッカーに続いて、ベイスボールで日の丸を背負った男たちが、どのような活躍を見せてくれるのか。今年もスポーツの感動と興奮をお届けしたいと思います。

（ベースボール・マガジン社代表取締役社長）

新春隨想

鈴木 宣幸

年頭所感

松木 修一

胸に
100年企業への決意を

矢内 広

小さな声で言つていいですか？ ブラアアアヴォオオオー！！ダメだダメだと言われても、最後に結果を出せばみんなハッピー。良いこと悪いこと、イッサイガツサイのみこんで、あれもこれも欲張つて、いつもより濃い時間が過ごせるように、素敵です。長い思い出を積み重ねる。この令和5年が素晴らしい年になりますように。

（中央公論新社代表取締役社長）

石田 哲哉

「多様な知」を提供し続ける会社でありたい
矢野 正晃

コロナがもたらした「巣ごもり需要」の崩壊、資源高による用紙代の値上がり……。厳しい環境の中での新年ですが、皆さま、あけましておめでとうございます。表がドイツ、スペインの強豪を撃破。ベスト16へ進出したことが、大きな感動を呼びました。今年3月8日にはワールドベール・クラシックが開催されますが、サッカーに続いて、ベイスボールで日の丸を背負った男たちが、どのような活躍を見せてくれるのか。今年もスポーツの感動と興奮をお届けしたいと思います。

コロナがもたらした「巣ごもり需要」の崩壊、資源高による用紙代の値上がり……。厳しい環境の中での新年ですが、皆さま、あけましておめでとうございます。表がドイツ、スペインの強豪を撃破。ベスト16へ進出したことが、大きな感動を呼びました。今年3月8日にはワールドベール・クラシックが開催されますが、サッカーに続いて、ベイスボールで日の丸を背負った男たちが、どのような活躍を見せてくれるのか。今年もスポーツの感動と興奮をお届けしたいと思います。

（日本雑誌広告協会専務理事）

12月7日、写真家協会のパーテイイが開催された。コロナ禍でここ数年は開催自粛だった。会場前のロビーから、再会を喜ぶ写真家のみなさんの笑顔があふれていた。久々の対面しかも立食の宴会。ペンはリモート取材ができる。それでも、カメラは現場がいいの。ようやく戻って来られた。

1月6日は出版クラブ主催の新年名刺交換会です。これも3年ぶり。協賛も定時総会パーティります。5月29日ドームホテル天空の間。お待ちしております。

明けましておめでとうございます。旧年中は様々な新たな取り組みが始まり、ご協力頂いた皆様には心より感謝申し上げます。

1972年に『ぴあ』を創刊して以来、お陰様で当社は昨年、創業50周年を迎えました。ここまで支えてくださった出版界のすべての皆様に、心より御礼申し上げます。依然コロナの猛威は続いておりますが、昨年から明らかに市場は復調の気配を見せております。当社では引き続き集客に尽力しつつ、次は100年企業を目指して、役員・従業員一同となつて努力を続けてまいります。（びあ代表取締役社長）

PHOTO：講談社写真部

小さな本の展覧会 16

梓会出版文化賞・新聞社学芸文化賞
受賞社展

テーマ：子どもたちへ
あらたな「日常」を生きる

自分と世界をつなぐ読書を求めて

会期：2023年1月12日(木)～3月31日(金)

10:00～18:00(土日祝はお休みします) 入場無料

会場：出版クラブビル 3Fライブラリー (神保町)



出版 時 記

▽毎月第3金曜日に隣り町の交流センター会議室を会場にした「読書会」の講師を仰せ付かり出でるようになつて4年以上になる。

▽教材は昭和10年に発行された地元の郷土誌で、620頁を越す大部なものだ。しかも旧字旧かな使いであるから、戦後教育を受けた会員諸氏も講師である私も四苦八苦である。事前準備に時間を取らないと、講義を進めることは難しい。漢字や用語の読み方や意味もそうであるが、本が地元の印刷所で製作されていることが尚のこと難しくさせている。

▽校正がキチンと出来ていないので「この部分はおそらくこうであろう」という箇所が多く、正誤表に載っていない所(理解出来ない箇所が間違っているとは断定出来ない)が、「漢和辞典」と「広辞苑」と「百科事典」のほかに

「國史大辭典」と「日本国語大辭典」も動員しなければならない。▽執筆者は明治11年生まれの教育者だった人であるが、「よくこんな漢字を知っているな」と驚かされる。方言で表現している部分には思わず微苦笑を誘われる。

▽何より困るのは句読点が極端に少ないことだ。何處で文節が切れるのか何度も読み返して確かに理解出来ない箇所が間違っていると、理解出来ない箇所が間違っていることは断定出来ない。これは恐らく(想像でしかないが)地方の印刷所ではこのようない大部分の書籍を印刷することは稀なことから、記号活字で一番多く使用される句点と読点を大きく省略したのではなかろうか。

▽郷土誌の類で市役所や町村の役場で編纂・発行されるものと違い、教材に使っているものは昭和10年頃に地元有志によって

ただいた皆様に御礼申し上げます。☆この冬は7年ぶりの節電が政府から要請されています。お客様にはご迷惑をおかけしない範囲で省エネに努めます。ご理解ください。☆おかげさまで本年9月に、日本出版クラブは創設70周年を迎えます。これまでのご支援に心より感謝申しあげます。これを機に、より皆様にご利用いただけるよう、改善を重ねてまいります。

☆よい一年になりますように。

☆あけましておめでとうございます。新春恒例の「出版関係新年名刺交換会」を3年ぶりに開催することになりました。人

数制限や受付の簡素化など、これまで違った点も多々あります。「三密対策」です。ご了解のほどお願い申し上げます。

☆今月号は、恒例の出版5団体代表の新年のご挨拶をいただきまし

た。加えて、年頭所感をお送りい

ます。

意味もそうであるが、本が地元の印刷所で製作されていることが尚のこと難しくさせている。

▽校正がキチンと出来ていないので「この部分はおそらくこうであろう」という箇所が

多く、正誤表に載っていない

所(理解出来ない箇所が間違っているとは断定出来ない)が、「漢和辞典」と「広辞苑」と「百科事典」のほかに

「國史大辭典」と「日本国語大

辞典」も動員しなければなら

ない。

▽執筆者は明治11年生まれの教

育者だった人であるが、「よく

こんな漢字を知っているな」と驚かされる。方言で表現して

いる部分には思わず微苦笑を誘

われる。

▽何より困るのは句読点が極端

に少ないことだ。何處で文節が

切れるのか何度も読み返して確

かに理解出来ない箇所が間違

っていることは断定出来ない。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認してやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう

な大部分の書籍を印刷することは

稀なことから、記号活字で一番

多く使用される句点と読点を大

きく省略したのではなかろうか

。

▽郷土誌の類で市役所や町村の

役場で編纂・発行されるものと

違い、教材に使っているものは

昭和10年頃に地元有志によつ

て

認めしてやらなければならぬ。

これは恐らく(想像でしかない

が)地方の印刷所ではこのよう